

くき学園 放課後等デイサービス自己評価表

本 校	久喜市青葉1-1-4-110
	0480-31-8120
栗 原 校	久喜市栗原2-14-14
	0480-31-8140
久 喜 北 校	久喜市北2-2-54
	0480-31-8281
青 葉 中 央 校	久喜市青葉5-1-4
	0480-53-8150
青 葉 第 二 校	久喜市青葉3-11-9
	0480-44-8950

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子どもたちの個性に合わせた教室の配置を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			元教員などが配属されており、各教室できめ細かい支援・指導が行われている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			日常生活における動線に配慮している。
業 務 改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			一年間に2回行われる、「個別支援計画」作成会議できめ細かい幼児児童生徒の支援計画を作成している。また、日々教室ごとの職員打ち合わせを徹底している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けのアンケートを行い、職員で共有しきめ細かい支援へと活用している。また、送迎時など保護者との接する機会においても、情報を共有している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年より自己評価表を公開している。また、保護者用のページより行事の写真や会報を添付している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			水島輝彦先生をはじめとする外部からの評価を仰いでいる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			虐待研修・保健研修などを積極的に行っている。また、日々全体で職員打合せを実施している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年2回、「個別支援計画」を作成し、保護者との綿密な面談を重ねている。また、臨床心理士によるカウンセリングも行われており保護者との綿密な計画を作成している。

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを活用し、更新を重ねている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			教室単位でチーム構成されており、きめ細かい支援になるよう日々打合せをしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			「週休日特別日課」や各教室での特色や、児童生徒の変容にきめ細やかに対応するように学習・生活・社会性を向上させるプログラムを実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			「週休日特別日課」や長期休暇での特別学習など日ごとに各教室単位で工夫したきめ細かい支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々、教室にて職員打合せが実施されておりきめ細かい支援が実施されるよう努めている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			全体での職員打合せ、それから、教室単位での職員打合せが行われており、その日の支援内容などが綿密に打ち合わせされている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			教室単位にて打合せを行い、支援の様子などを振り返り、翌日への手立てや課題を考える。また、送迎終了後など、家庭から得られた情報などを共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日誌や「生活の記録」などを十二分に活用し、日々の支援の検証・改善を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回、「個別支援計画」を作成し、保護者との綿密な面談を重ねている。
関係機関や保	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインの総則の基本活動を参考にしながら、よりよい変容へ繋がるよう学習・生活・社会性の向上を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			元学校長・臨床心理士・相談支援専門員などが加わり、子供たちの様子から専門の目線で参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎担当職員・各教室責任者を中心に綿密に情報交換を行っている。また、学校提供の週報など学校とも綿密に連絡を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			「支援ファイル」作成時に主治医の先生やアレルギーなどの把握を行っている。また、当事業所では秋谷病院とも提携をとっている。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前の情報をもとに、小学校入学がよりよくなるように支援している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			支援状況などをきめ細やかに情報提供を積極的に行っている。また、相談支援専門員を活用しその後の支援についても共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修を積極的に利用し、そこで得られた情報を職員間で共有している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			久喜市の催事や施設を利用し、活動の幅を広げながら子どもたちだけではなく地域立で活動している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加し、その内容を職員間で共有している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に子どもの状況を送迎職員と共有を行っている。また、保護者とも保護者会や教室の懇談会などで共通理解を深める機会を作っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			臨床心理士による、ペアレント・トレーニングが実施されており、また、個別でのカウンセリングも実施されている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			年4回の保護者会の実施。それから、年2回の個別支援計画などを通じてきめ細かい説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			臨床心理士による、個別のカウンセリングが行われている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			「夢・実現」親の会が組織されており、保護者と一体化した行事を開催している。また、年間4回の保護者会を実施している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			管理責任者・教室責任者・教室担当者で共有し周知徹底をおこなっている。また、苦情などにおいて迅速かつきめ細やかに対応している。
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎週、「くき学園だより」を発行している。また、連絡体制についても保護者用ページなどを活用している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関わる情報については、厳重に保管している。また、職員間での情報共有においても十二分に注意している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			SST（ソーシャルスキルトレーニング）が実施されており、その支援を活用した意思の伝え方を活用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			敬老の日や夏祭りへの参加など自治体や自治会など地域に根差した運営・活動を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを作成し、万事に備えている。また、研修をおこなっており職員や保護者に周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、利用者を含めて防災訓練をおこなっており、自助共助を含めた研修・訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県の虐待研修での研修をもとに、職員を対象とした虐待研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			管理責任者・教室責任者・教室担当者で決定を行う。また、経緯や保安面において保護者への説明をする体制を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			「支援ファイル」を作成し、アレルギーや主治医の把握を行っている。また、提携している秋谷病院の指示も仰いでいる。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの事例作成について、職員へ積極的に促し共有を行っている。